

ドキュメント・サプライ①

どこから文献を入手するか

図書館は利用者に対して資料や情報を提供することが主な仕事です。そのために自館で資料を収集し、また情報へのアクセス手段を整えたりしますが、さらに利用者サービスとして自館に所蔵していない資料の入手、提供を行います。特に所蔵資料が乏しく、その上利用者の文献要求の多い病院図書室ではこのサービスはたいへん重要なサービスです。昨年4月以降のMRの文献サービスの自粛や医中誌やMedlineのCD-ROM版の普及によって病院図書室の扱う文献依頼の量は大幅に増加しています。以下、逐次刊行物の情報源を紹介するので参考にしてください。

単行本や Gray Literatureの所在については需要も多く調査ツールの刊行が待たれますが、現在医学書については日本医学図書館協会（以下、JMLAと略す）の「医学洋書ユニオンカタログ」の他に目ぼしいツールはありません。もっとも学術情報センターNACSISには国立大学を中心に単行本のデータがかなり蓄積されてきていますので、もし必要であれば近くの大学図書館等にお願いして所在を確かめるとよいでしょう。

現在、病院図書室、あるいは病院で働く医療関係者が文献の依頼をすることができる図書館や情報機関は以下のとおりです。ただし、文献サービスをネットワーク内に限定しているところやそれぞれの館の事情により病院図書室をサービス対象にしていない図書館もあります。また、各館には利用の条件、必要な手続き、申し込みや料金支払の所定の様式などがありますから注意が必要です。

主な依頼先

- (1) 大学医・歯・薬学系図書館
- (2) 病院図書室ネットワーク加盟施設

- (3) 医学関係中央団体図書館
- (4) 関連情報機関
- (5) ドキュメントサプライヤー
- (6) 国立国会図書館
- (7) 公共図書館
- (8) その他の大学図書館
- (9) 海外の図書館
- (10) その他

(1) 大学医・歯・薬学系図書館

自館にない資料の入手には従来より図書館間の相互貸借サービス（ILL）が利用されてきました。医学分野の文献流通網としては古い歴史を持つJMLAがあります。JMLAは全国の大学医学部、あるいは医科大学の図書館を中心に104の図書館で構成されています。文献の相互利用はJMLAの大きな機能の一つですが、JMLAの刊行している「現行医学雑誌所在目録」には加盟館の他にも薬学系等関連分野の図書館のデータもリストアップされており併せて利用することができます。

(2) 病院図書室ネットワーク加盟施設

病院図書室文献サービスのバックアップは主としてこのJMLA加盟館をお願いしてきましたが、最近では病院図書室間のネットワーク形成が進み、それぞれの会員の間で文献の相互貸借が盛んに行われるようになってきています。現在、北海道、福島、新潟、栃木、静岡、三重、島根などの各県にネットワークがあり、他方病院図書室研究会、当協議会のように地域を越えたネットワークを形成している団体もあります。ネットワーク内での文献相互貸借が基本ですが、どうしても欲しい文献については他のネットワーク加盟施設に相談してはいかがでしょうか。

(3) 医学関係中央団体図書館

この他、医学とその関連分野の中央団体の図書室があります。たとえば、日本医師会図書館や日本看護協会看護研修センター図書館がありますが、これらの団体は会員に対するサービスが中心で対図書館サービスは積極的に行っていないようです。病院の医師や看護婦等その団体の会員であれば個人で利用することができます。また学会等の各職能団体でも文献サービス、情報サービスを行っているところがあります。これも原則的には会員個人に対するサービスです。

(4) 関連情報機関

医学や科学技術関係の各種情報機関があります。これらの機関は文献サービス以外にも多くのサービスを提供しています。提供する資料の種類や料金が高いことなどに注意すれば迅速なサービスが期待できます。主な情報機関は以下のとおり。

1) 医学中央雑誌刊行会

* 申込方法:

郵送、FAX、電話

FAXは所定の用紙あり。

* 複写料金:

¥500 (基本料金) + (¥30×ページ数)

* 料金支払方法: 郵便振替

* 納期: 申込受付の翌日発送

* 問い合わせ先:

〒168 東京都杉並区高井戸東2-5-18

TEL. 03-3334-4632

FAX. 03-3334-5045、03-3334-6013

* 備考:

- ・対象は医学中央雑誌に収載の和雑誌
- ・医学中央雑誌予約購読機関、個人の場合は基本料金¥100割引

2) (財)国際医学情報センター (IMIC)

* 申込方法: 郵送、FAX

* 複写料金: センター所蔵文献については5枚単位で¥500加算 (FAXでの申込受付については手数料¥200必要) 送料実費。

* 料金支払方法: 銀行振込、郵便振替

* 納期: 申込受付の翌日発送

* 問い合わせ先: 大阪分室

〒541 大阪市中央区高麗橋2-3-15

三星高麗橋ビル

TEL. 06-203-6646

FAX. 06-203-6676

* 備考:

- ・単行本の複写可 (別途料金¥1,200要)
- ・雑誌のバックナンバーは1982年まで。

3) 日本科学技術情報センター (JICST)

* 申込方法: 郵送、オンライン

* 複写料金:

JICST所蔵文献は¥600+(¥60×ページ数)

上記金額に送料含む

* 料金支払方法: 銀行振込

* 納期: 申込受付から約3日後発送

* 問い合わせ先: 大阪支所

〒550 大阪市西区江戸堀1-9-1

肥後橋センタービル10F

TEL. 06-445-6001

FAX. 06-445-6439

* 備考:

会議資料、技術レポート、公共資料等の複写可。

(5) ドキュメントサプライヤー

図書館関係者にはあまり知られていませんが、医学関係の文献サービスをする文献ブローカーがあります。今までは主として製薬会社 MR 等を通して医師に文献を提供してきたようです。MRのサービス自粛によって文献入手が困難になってきましたが、図書室の体制が整っていない施設ではこうしたブローカーの利用も考慮するとよいでしょう。一般的に図書館相互貸借による文献入手より高価ですが、エンドユーザーが使うには便利で、サービスも迅速です。

下にこうした民間業者をいくつか挙げておきますので参考にしてください。

1) (株)サンメディア

* 申込方法: 郵送、FAX、電話

* 複写料金: 5枚毎に¥800。手数料1件につき¥200。送料は実費。

* 料金支払方法: 銀行振込、郵便振替、クレジットカード (VISA)

*納期：申込受付から1～2日後納品。

*問い合わせ先：大阪営業所

〒531 大阪市北区本庄東1-1-10 RISE88

TEL. 06-371-1161

FAX. 06-371-7356

*備考

・昨年10月にメディフォ、(株)M I Lを合併。

・単行書、会議録等の複写可。

2) (株)メジテース

*申込方法：郵送、FAX、電話

*複写料金：通常価格は5ページ単位で¥700加算。
送料は実費。

*料金支払方法：銀行振込、郵便振替、銀行口座自動振替

*納期：申込受付の即日または翌日発送

*問い合わせ先：

〒104 東京都中央区八丁堀2-20-9

京橋第8長岡ビル2階

TEL. 03-3552-9601

FAX. 03-3552-9603 (フリーダイヤル 0120-199093)

*備考：単行書、会議録等の複写可。

3) (株)伸樹社

*申込方法：FAX、電話

*複写料金：

通常価格1～5枚(¥800)、6～10枚(¥1,600)、
11～15枚(¥2,400)、16～20枚(¥3,000)

以下、5枚単位に¥500加算。

送料は実費+手数料(¥500)

*料金支払方法：銀行振込

*納期：午前中受付；即日発送

午後受付；翌日または翌々日発送

*問い合わせ先：大阪本社

〒541 大阪市中央区道修町2-2-6

道修町後藤ビル8階

TEL. 06-203-0112

FAX. 06-203-0122

*備考：単行書、議事録等の複写可(雑誌文献複写と同価格体系)

4) (株)日本フォトビジネス

*申込方法：FAX

*複写料金：通常価格は基本料金(¥500) +
(¥100×ページ数)、送料は実費。

*料金支払方法：郵便振替

*納期：午前中受付；即日発送

午後受付；翌日発送

*問い合わせ先：

〒151 東京都渋谷区本町4-21-1

TEL. 03-3372-1761

FAX. 03-3373-9666

*備考：単行書、レポート類、会議録等の複写可。

5) (株)中外メディカル情報

*申込方法：郵送、FAX、電話

*複写料金：通常価格は1～5枚で¥700、以下5枚単位で¥500加算。電話申込受付については手数料(¥200)要。送料は実費+手数料(¥500)

*料金支払方法：郵便振替

*納期：1～2日

*問い合わせ先：

〒171 東京都豊島区高田3-41-8

(株)中外製薬中央研究所内

TEL. 03-3986-4484

FAX. 03-3988-7230

*備考：単行書の複写可(別途¥500要)

(6) 国立国会図書館

別掲のリソースライブラリー参照。

(7) 公共図書館

医学専門書の所蔵はあまり期待できませんが、広い分野の資料を収集しているので、病院の近くにある公共図書館をうまく活用すると便利です。患者サービスや患者教育等の図書を借り出している病院もあります。また、地方自治体の刊行物や発行物については大事な情報源図書館です。

(8) 医・歯・薬学系以外の大学図書館

文部省の学術情報センターでは大学図書館の逐次刊行物目録「学術雑誌総合目録」を発行しています。この目録は市販されており入手が可能です。これによりますと、702機関の所蔵学術雑誌の所在が明らかになり、医学分野以外の情報ソースがわかります。図書館によっては病院図書室へのサービスはしていないところもありますが、学術

情報の入手には欠かせない情報源図書館です。

(9) 海外の図書館

現在、近畿病図協ではBritish Library Document Supply Centerのクーポンを共同利用しています。この他にもNational Library of Medicineへの申し込みもJMLA加盟館を通じて可能なようです。国内で入手不可能な文献はこの方法を使ってください。近畿病図協のBLDSC センターは星ヶ丘厚生年金病院図書室です。

(10) その他

以上の手段を使えばおおかたの文献は入手できますが、どうしても所在がわからないものについては著者に直接問い合わせたり、発行元に問い合わせることなどがが必要です。したがって、研究者名簿等のダイレクトリー類、学会の所在等を調べるツールは揃えておくと便利です。

また、全国には多くの専門分野の図書館があり

ます。専門図書館協議会が刊行している「専門情報機関総覧」（隔年発行）には各種専門図書館や研究所図書館の一覧が掲載されています。公的機関の図書館を除いてその多くは非公開ですが、どのような専門図書館があり、コレクションにはどのようなものがあるかを知るにはいいかもしれません。また、1978年に日本図書館協会から刊行されたものに「専門情報機関案内—東京版」がありますが、その後継続刊行はなされていないようです。新しいものでは、日本図書館協会機関誌「図書館雑誌」が「ちょっと気になる Library」をシリーズ連載し、そこではさまざまな図書館が紹介されて面白い読み物になっています。その他、最近図書館がトレンディーなのでしょうか、雑誌「週刊文春」でも現在隔週で「図書館へ行こう」が連載されていますし、他の週刊誌等でも各種図書館の紹介が目につきます。直接日常業務に関わりがないかもしれませんが、目を通しておくとよいと思います。 (編集部)

近畿病院図書室協議会

第20回総会および事例報告会のご案内

日 時：平成6年3月25日（金）

場 所：淀川キリスト教病院

プログラム：

午 前 事例報告会

午 後 総会記念講演

第20回総会

詳細は追ってお知らせいたします。多数ご参加ください。